

ZERO-CARBON ACADEMY-TOUR

実績報告書

1st. ツア-編 1.12 Fri
2nd. アカデミー編 2.3 Sat

ゼロカーボンデザイン



上川総合振興局環境生活課

開催概要

—ZERO-CARBON ACADEMY-TOUR 2024—

■ 開催目的

- ・2050年までの「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、あらゆる分野において、上川の地域資源を活かした多様なゼロカーボンの“取組の芽”を育てていくことを目的に実施。
- ・令和5年度は、「その発想、実はゼロカーボンかも？」をテーマに、豊富な森林資源を有する下川町とタッグを組み、【フィールドワーク（ツアー編）】と【ワークショップ（アカデミー編）】を通じて、様々な視点から「ゼロカーボン」について深掘りする。

■ ツアー編

■ 日時

令和6年1月12日(金) 8:30~19:00

■ 開催場所

下川町内のゼロカーボン関連施設等

■ 参加者等

【受講生】30名

【講師】Sanagy(株) 菊池 佳 氏
ケータのケータリング 矢内 啓太 氏
下川町森林組合 小林 英明 氏
(株)フブの森 田邊 真理恵 氏

■ 共催

下川町（総務企画課・地球温暖化対策推進室）

■ アカデミー編

■ 日時

令和6年2月3日(土) 10:00~16:00

■ 開催場所

デザインギャラリー（旭川市宮下通11丁目）

■ 参加者等

【受講生】27名

【講師】Sanagy(株) 菊池 佳 氏
緑川木材(株) 緑川 新之助 氏
レクトショップ 708号室 蜂須賀 咲来 氏
(株)谷口農場 小関 拓哉 氏

■ 共催

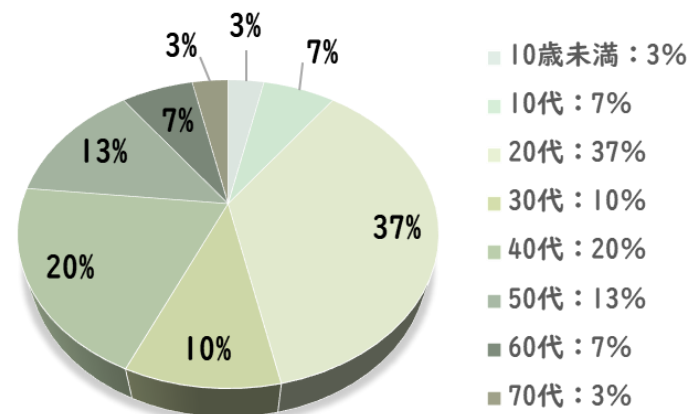
下川町（総務企画課・地球温暖化対策推進室）

アカデミー生

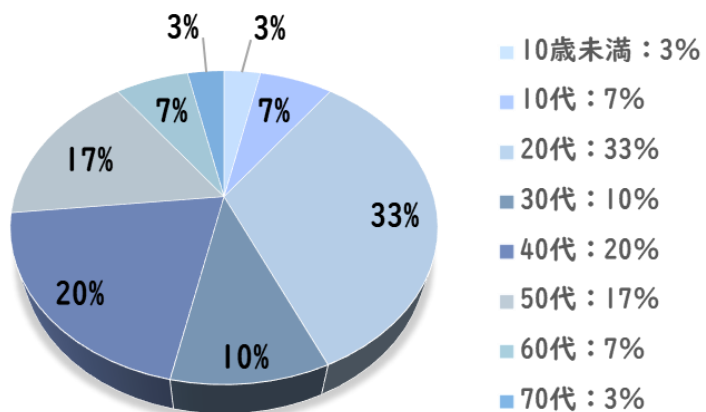
—ZERO-CARBON ACADEMY-TOUR 2024—



◀ ツアー編 受講生30名（年齢構成）



アカデミー編 受講生27名（年齢構成）▶



TOUR - ツア - 編 -



IN Shimokawa

日時 令和6年1月12日(金)

場所 ガーデニングフォレスト「フレペ」(下川町西町100)

受講生 9歳から70代までの30名

趣旨 下川町内の様々な施設を巡るフィールドワークを通じて、ゼロカーボンについての理解を深め、アクションにつなげていくためのヒントを探る

プログラム

- 【ワーク】 オリエンテーション
- 【ランチ】 ケータのケータリング
- 【視察】 木質原料製造施設
- 【視察】 下川町森林組合
- 【視察】 一の橋バイオビレッジ
- 【紹介】 (株)フプの森
- 【ワーク】 グループワーク

共催 下川町(総務企画課・地球温暖化対策推進室)

ファシリテーター



豪華講師陣



その発想、実はゼロカーボンかも？

TOUR - ツア - 編 -

SCHEDULE



オリエンテーション

本ゼロカーボンアカデミーツアーの趣旨説明のほか、道や振興局、下川町内における多様なゼロカーボンの取組について紹介しました



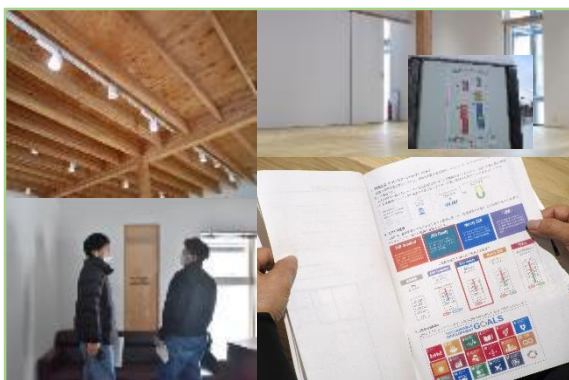
地産地消ランチ

できる限り地域内で採れた農作物を使って総菜販売等を行う『ケータのケータリング』の料理を試食しながら、『地産地消』について学習しました



【見学①】木質原料製造施設

本来であれば不要な『ゴミ』として捨てられてしまっていた林地残材や支障木等を活用したチップやおが粉の製造工程を視察しました



【見学②】下川町森林組合

木を植え・育み・付加価値をつけて販売する持続可能な林業の取組について学習したほか、ZEB-Ready登録を受けた新庁舎も視察しました



【見学③】一の橋バイオビレッジ

エネルギー自給型の集住化モデル『一の橋バイオビレッジ』で、木質チップを熱エネルギーとして利用するサイクルについて学習しました



【取組紹介】(株)フプの森

建築用材等を製造する際に、未利用となっている枝葉を活用した新たな商品開発の取組など、未利用資源の活用について学習しました

TOUR - ツア - 編 -

GROUP WORK

内 容

- ツアー編の総括として、ファシリテーターとツアー内容の復習
- グループ毎に、ツアーを通じて得られた気づきや学び等を共有
- ツアー全体の感想や今後に活かしたいこと等について全体発表
- ツアー編の全学習内容から出題する振り返りクイズ大会を実施

参加者の声

- 自分たちも普段生活している中で取り組めることに、どんどん取り組んでいこうと思った
- 限界集落と言われているが、今考えると限界を突破しているといつか、環境の面では非常に最先端をいっていると感じた



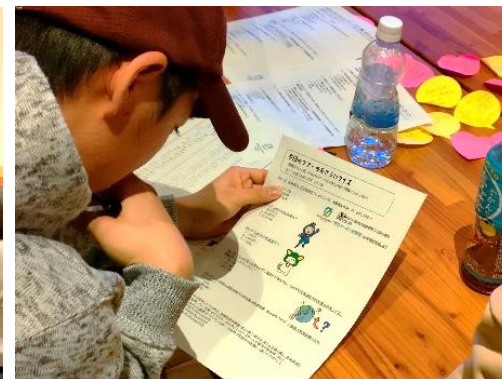
ツアー編の感想や、得られた気づき等を付箋にどんどんメモしていきます！



5つのグループに分かれ、個人個人で書いた付箋を見せ合いながら情報共有

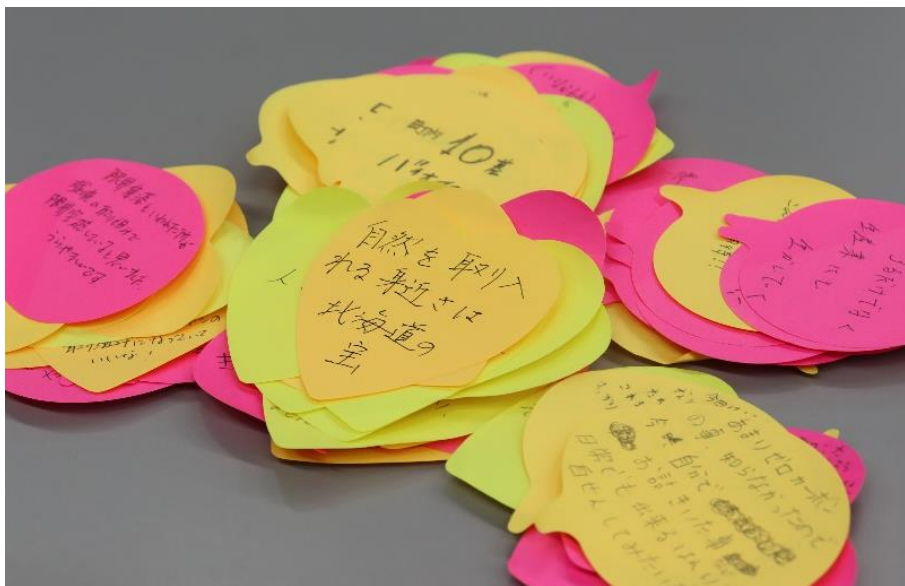


各グループで出た意見や感想のほか、今後自分が取り組みたいこと等を発表



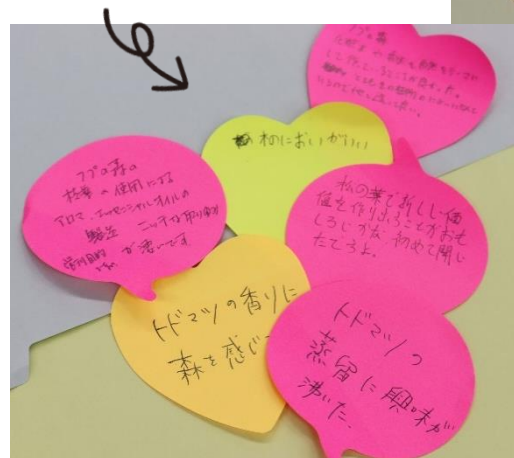
下川の特産品を賭けた振り返りクイズで楽しくおさらい♪全問正解できたかな？

試食した地産地消のランチの感想

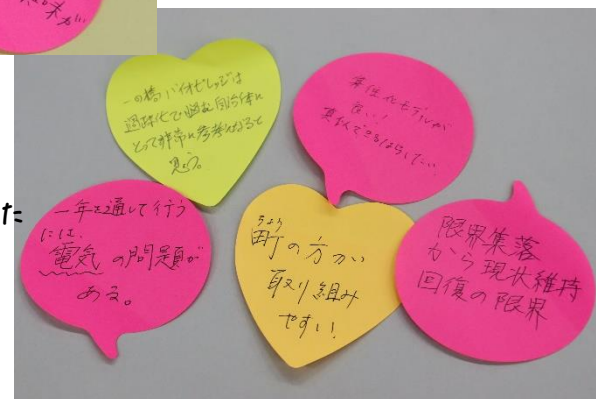


こんなにたくさんのご感想をいただきました！！

フプの森の取組に魅了された女性参加者が多かった様子



下川町の取組を実際に目で見て
感じた感想も多く寄せられました。



TOUR - ツア - 編 -

Quiz Time

ツア - のおさらいクイズの問題

ツアー編の最後に、
ツアーの1日で学んだことを
振り返るおさらいのクイズ大会
を開催しました！

ツアーの解説をしっかりと聞いていたら簡単？難しすぎる？そんな心配をよそに、12問中11問正解者が多数出るなど大盛況のうちに終わりました！

何問解けるか
挑戦してみてください！



今日のツアーのおさらいクイズ

- ・問題は全12問。今日のツアーで出てきた内容が問題になっています
- ・正しいと思うものに○をつけてね

【No.1】 北海道は、2千何年までにゼロカーボンの実現を目指しているでしょうか？

1. 2030年
2. 2050年
3. 2100年



2030年までに道内の温室効果ガス排出量を実質ゼロとする
「ゼロカーボン北海道」の実現を目指します

【No.2】 このキャラの名前は？

1. えこのしん
2. えこのすけ
3. えこたろう



【No.3】 このキャラの名前は？

1. しもりん
2. しもっぴー
3. しもるん



【No.4】 このまま何の対策もせずに温暖化が進んだら、2100年の北海道の平均気温は何度上がるかと試算されているのでしょうか？

1. 約1.5度
2. 約4.9度
3. 約10.1度



【No.5】 2030年度の温室効果ガス排出量の削減目標、国は46%ですが、北海道の削減目標は何%でしょうか？

1. 44%
2. 国と同じ
3. 48%

【No.6】 今日見学した下川町は、循環型森林経営(伐る・使う・植える・育てるを繰り返す、森林資源を持続的に活用していく林業)を行うため、1953年に1,221ヘクタールの国有林を取得しました。このためにかかった費用はいくらでしょうか？ ※当時の町財政の総額は1億2千万円でした

1. 1億2千万円分の4,400万円
2. 1億2千万円分の6,600万円
3. 1億2千万円分の8,800万円

【No.7】 現在の下川町の総面積は644.2km²ですが、そのうち森林の面積は何%でしょうか？

1. 66%
2. 77%
3. 88%



【No.8】 下川町が取得している森林認証制度はつぎのうちどれでしょうか？

1. SGEC(Sustainable Green Ecosystem Council)
2. PEFC(Programme for the Endorsement of Forest Certification)
3. FSC(Forest Stewardship Council)



【No.9】 下川森林組合の建物でHokkaido Wood Buildingについて学びましたが、令和5年12月1日現在、Hokkaido Wood Buildingに登録されている建物の数は何棟でしょうか？

- ※ちなみに下川森林組合は40棟目(2023.6.1登録)
1. 51軒
 2. 61軒
 3. 71軒



【No.10】 省エネ+創エネで年間の一次エネルギー消費量を0%以下まで削減した建物はZEB(Net Zero Energy Building)と言いますが今日見学した下川森林組合の建物はZebなんというのでしょうか？

1. Zeb Ready(省エネで50%以下まで削減)
2. Nearly Zeb(省エネ+創エネで25%以下まで削減)
3. ZEB Oriented

【No.11】 一の橋バイオビレッジで見学した木質バイオマスボイラーをはじめとしたボイラーが下川町内に10基ありますが、これにより公共施設への熱供給を68%再生エネルギーへ転換することが可能になりました。これにより実現したコスト削減額はどれでしょうか？

1. 削減額 1,800万円/年
2. 削減額 2,800万円/年
3. 削減額 3,800万円/年

【No.12】 フブの森で生産しているエッセンシャルオイルはある木の枝と葉を原料に抽出していますが、次のどの木でしょうか？

1. トドマツ
2. カラマツ
3. オソマツ

